

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	128
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名				特別支援学級スクールカー送迎				10 事業費の状況																																										
2 基本政策				5 明日の港区を支える子どもたちを育む				<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">予算状況の内訳</td> <td colspan="3">決算状況</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年度</td> <td>当初予算額</td> <td>流用</td> <td>補正予算</td> <td>予算現額</td> <td>決算額</td> <td>執行率</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>141,764</td> <td>-1,530</td> <td>0</td> <td>140,234</td> <td>127,802</td> <td>91.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>165,502</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>165,502</td> <td>155,665</td> <td>94.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> <td>177,250</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>					予算状況の内訳			決算状況				年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率		平成30年度	141,764	-1,530	0	140,234	127,802	91.1%		令和元年度	165,502	0	0	165,502	155,665	94.1%		令和2年度	177,250	-	-	-	-	-
	予算状況の内訳			決算状況																																														
	年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率																																											
	平成30年度	141,764	-1,530	0	140,234	127,802	91.1%																																											
	令和元年度	165,502	0	0	165,502	155,665	94.1%																																											
	令和2年度	177,250	-	-	-	-	-																																											
3 政策名				(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する																																														
4 施策名				②特別支援教育の推進																																														
5 事業説明文				障害がある方のため学校へ安定的に自力通学することが困難な児童・生徒が安全に登下校できるよう、スクールカーによる送迎を行い、保護者の学校への送迎の負担を軽減します。																																														
6 背景、経緯				<p>開始当時、赤羽小学校（ひまわり学級）、本村小学校（若竹学級）、青山小学校（あすなろ学級）に特別支援学級を開設していましたが、将来的にも特別支援学級の新設が見込まれていました。その後、平成20年度に港南小学校（わかば学級）に新設され、現在は高輪地区での新設として、令和3年4月に高松中学校に小学校と中学校の特別支援学級を開設するため準備を進めています。</p> <p>障害のある児童の増加に加え、通学手段の確保と通学に伴う保護者の負担を軽減するため、事業開始年度から送迎を実施しています。</p>				<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">財源内訳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年度</td> <td>一般財源割合</td> <td>一般財源</td> <td>国庫支出金</td> <td>都支出金</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>100.0%</td> <td>141,764</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>100.0%</td> <td>165,502</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> <td>100.0%</td> <td>177,250</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>					財源内訳						年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他		平成30年度	100.0%	141,764	0	0	0		令和元年度	100.0%	165,502	0	0	0		令和2年度	100.0%	177,250	0	0	0					
	財源内訳																																																	
	年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他																																												
	平成30年度	100.0%	141,764	0	0	0																																												
	令和元年度	100.0%	165,502	0	0	0																																												
	令和2年度	100.0%	177,250	0	0	0																																												
7 事業内容				<p><対象者></p> <p>①区立小学校特別支援学級に在籍する児童</p> <p>②区内に在住し、東京都立特別支援学校に在籍する児童・生徒のうち、特別支援学校のスクールバスを利用した場合に通学時間が1時間を超える者</p> <p><内容> ①児童が居住する通学区域の隣接区域に設置されている区立小学校の特別支援学級に通学する児童について、スクールカーでの送迎を行っています。</p> <p>②区内在住の都立特別支援学校に通学する児童及び生徒について、スクールカーでの送迎を行っています。</p>				<p>11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p> <p>重度障害により大きな身体的負担のある児童が、都のスクールバスの送迎先となる幹線道路の停留所まで毎日行くには、気温、降雨、台風などの天候や体調などにより児童だけではなく保護者に対しても大きな負担となります。</p> <p>区のスクールカーは都のスクールバスと比較して車両が小さく小回りが利くため、自宅の近くまで送迎できるなどサービスの質が高く、保護者の負担軽減に大きな効果を上げています。また、送迎の実施により、特別支援学級及び都立特別支援学校への通学が可能となる子どもにとって、保護者が就学先を考える上での選択肢が大きく広がります。</p> <p>平成31年3月には保護者から、スクールカーの継続について強い要望がありました。引き続き大きな期待を寄せられています。</p> <p>今後も現行の送迎事業を継続していきますが、運行ルートの見直しなど効率的な運用を行いコストを抑える工夫をいたそうえ、東京都と協議します。</p>																																										
8 事業実績・指標				<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">指標1</td> <td colspan="3">利用人数（特別支援学級）</td> <td rowspan="2">指標2</td> <td colspan="3">利用人数（特別支援学校）</td> </tr> <tr> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>105.6%</td> <td>平成30年度</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>90.9%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>100.0%</td> <td>令和元年度</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>89.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>44</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>令和2年度</td> <td>21</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>				指標1	利用人数（特別支援学級）			指標2	利用人数（特別支援学校）			当初予定	実績	達成率	当初予定	実績	達成率	平成30年度	36	38	105.6%	平成30年度	22	20	90.9%	令和元年度	42	42	100.0%	令和元年度	19	17	89.5%	令和2年度	44	-	-	令和2年度	21	-	-	<p>12 事務事業評価における最終評価</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p> <p>重度障害により大きな身体的負担のある児童及び保護者にとって、負担軽減となっており、効果性の高い事業であることから、「継続」評価とします。</p> <p>都立の特別支援学校の通学に対する支援については、利用人数の状況も踏まえ、本事業の位置づけや方向性を改めて整理するなど引き続き検討してください。</p>				
指標1	利用人数（特別支援学級）			指標2	利用人数（特別支援学校）																																													
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率																																											
平成30年度	36	38	105.6%	平成30年度	22	20	90.9%																																											
令和元年度	42	42	100.0%	令和元年度	19	17	89.5%																																											
令和2年度	44	-	-	令和2年度	21	-	-																																											
9 基本計画・個別計画・関連する法令等				港区特別支援学級等スクールカー送迎事業実施要綱																																														

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	129
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名				学びの多様性推進事業				10 事業費の状況									
2 基本政策				5 明日の港区を支える子どもたちを育む				年度			予算状況の内訳				決算状況		
3 政策名				(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する				年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率			
4 施策名				⑤安全・安心で魅力ある教育環境の整備				平成30年度	—	—	—	—	—	—			
5 事業説明文				突出した能力を持ちながら、発達障害などの理由から学校生活に馴染めない児童・生徒に対し、新たな教育の機会を提供し、自己肯定感を高めます。				令和元年度	2,618	3	0	2,621	2,620	100.0%			
								令和2年度	7,472	—	—	—	—	—	—		
6 背景、経緯				昨年度、特別支援教室に通級する児童を対象に2回実施したプログラミング学習会は合計44名の参加があり、参加前後のアンケート結果から好評でしたが、特別支援教室の利用者の14%程度の参加となっているため、個々に応じた分野の教育の機会の提供が課題となっています。				財源内訳									
								年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他				
								平成30年度	—	—	—	—	—				
								令和元年度	100.0%	2,618	0	0	0				
				令和2年度	100.0%	7,472	0	0	0								
11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）																	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続 <input type="checkbox"/> 2 統合 <input type="checkbox"/> 3 縮小・一部廃止 <input type="checkbox"/> 4 廃止																	
7 事業内容				対象者：特別支援教室に通級する児童・生徒（小学校4～6年生、中学生：300名程度） 内容：教材レゴ教材を活用したプログラミング教育をみなと科学館で実施します。また、東京大学先端科学技術研究センターと連携して、オンライン会議システム活用し、遠隔地において児童と各分野の講師を結ぶことにより、個々の興味や関心に寄り添った学習プログラムを実施します。学習プログラムにおける学びを区内の施設、自然などの資源を活用して実際に確かめたり、発展的な学習につなげたりすることで、学ぶ意欲を高め主体的に学ぶ力を身に付けます。 実施手法：東京大学先端科学技術研究センターやみなと科学館との連携による実施 実施回数：学習プログラム…1回20名程度（3グループ程度）、週1回×12週				本事業は、令和元年度から開始した新規事業であり、効果を検証している段階であるため継続します。現段階では、指標2における達成度が非常に高いため、次年度以降も継続し、長期的に効果を検証していきます。									
8 事業実績・指標								12 事務事業評価における最終評価									
指標1		発達障害児等に対する学習プログラム数		指標2		受講した学習プログラムを継続して参加したいと答えた児童・生徒の割合		<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続 <input type="checkbox"/> 2 統合 <input type="checkbox"/> 3 縮小・一部廃止 <input type="checkbox"/> 4 廃止									
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率										
平成30年度	—	—	—	平成30年度	—	—	—										
令和元年度	1	1	100%	令和元年度	60	98	163.3%	突出した能力を持ちながら、発達障害などの理由から学校生活に馴染めない児童・生徒に対し、新たな教育の機会を提供するため必要な事業であり、アンケート結果などからは、一定の効果が認められることから、「継続」評価とします。令和元年度から開始した新規事業であるため、アンケート結果などを踏まえ、引き続き効果を検証してください。									
令和2年度	2	—	—	令和2年度	70	—	—										
9 基本計画・個別計画・関連する法令等																	
学校教育推進計画2 - (2) - ① 特別支援教育の充実																	

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	130
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名		学習活動支援保護者負担軽減事業（教育指導担当）		10 事業費の状況											
2 基本政策		5 明日の港区を支える子どもたちを育む		予算状況の内訳			決算状況								
3 政策名		(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する		年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率					
4 施策名		① 「徳」「知」「体」の育成		平成30年度	100,492	358	0	100,850	92,048	91.3%					
5 事業説明文		学習にかかわる経済的な負担を一部補助することにより、学習教材等を充実させるとともに、各種検定の受験の機会を設け、学習する意欲や挑戦する意欲を高めます。		令和元年度	99,869	-245	0	99,624	90,974	91.3%					
6 背景、経緯		学校で使用する教材などの費用の一部を負担することにより、学習活動の支援を行い、保護者の負担軽減を図るため開始しました。平成26年度までは、中学校の検定受験料は年2回まで補助を行っていましたが、平成27年度より1回に変更しました。		令和2年度	97,332	—	—	—	—	—					
7 事業内容		1 補助教材等の購入 学習にかかわる必要な教材を充実させるため、購入費の一部負担軽減をしています。 2 検定受験料の補助（漢字検定、英語検定、数学検定） 平成28年度から推奨級を設け、挑戦する機会としています。		財源内訳											
8 事業実績・指標		教材購入負担額（千円）		指標2		検定の受験者数									
指標1	当初予定	実績	達成率	当初予定	実績	達成率									
平成30年度	79,393	74,122	93.4%	平成30年度	10,995	9,138	83.1%								
令和元年度	78,517	73,033	93.0%	令和元年度	11,451	9,427	82.3%								
令和2年度	79,236	—	—	令和2年度	11,888	—	—								
9 基本計画・個別計画・関連する法令等		港区学校教育推進計画3 - (1) - ①多様な主体との協働・連携		11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）											
				1 継続				2 統合		3 縮小・一部廃止		4 廃止			
				学習教材等購入費用の一部負担することで、教材の充実が図られています。また、各種検定の費用を負担することで、児童・生徒が積極的に検定に挑戦する機会が提供され、更なる学習意欲が高まります。 このことから、教育活動を実施する上で必要な経費の一部を補助するため必要です。 今後、G I G Aスクール構想として1人1台タブレット端末を貸与し、一部の教科でデジタル教材を活用することで、学習教材等購入費用の補助対象を縮小します。 また検定受験料の補助については、前年度以前の実績や学習への活用状況をもとに、小学生の補助対象範囲を見直すことで、事業の縮小を図ります。				12 事務事業評価における最終評価							
				1 継続				2 統合		3 縮小・一部廃止		4 廃止			
				検定受験料の補助対象範囲を見直した場合であっても、事業目的に沿って学習意欲や挑戦意欲を高めていく取組を引き続き行うこと、また、G I G Aスクール構想の下、タブレット端末を一人一台配布することにより生徒の学力を強化していく方向性を確認した上で、本事業は「縮小・一部廃止」と評価します。											

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	131
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名				文化連合行事				10 事業費の状況			
2 基本政策				5 明日の港区を支える子どもたちを育む							
3 政策名				(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する							
4 施策名				①「徳」「知」「体」の育成							
5 事業説明文				音楽鑑賞教室は劇場等において質の高い演奏を鑑賞する機会を通じ、児童、生徒が音楽を愛好する心情や、態度を養います。幼稚園観劇教室は、幼児がプロの人形劇に接することで、感性を養い豊かな情操を育みます。中学校音楽交歓会や連合作品展は代表児童、生徒が平素の芸術活動の成果を発表することで、技術や学習意欲を高めるとともに感性を養います。							
6 背景、経緯				音楽鑑賞教室は、音楽授業にて生の音楽に接する機会を供する目的で開始されました。幼稚園観劇教室は、従来幼稚園ごとに実施していた観劇事業を区内施設を利用して、幼稚園が一堂に会して人形劇を鑑賞する機会を供する目的で始めました。中学校音楽交歓会は、平素練習している音楽活動を、区内中学校後一度に集まり発表する場の機会を設定したことが始まりです。連合作品展は東京都の事業の一つとして、東京都内の自治体から出品されます。							
7 事業内容				①音楽鑑賞教室は、小学校、中学校それぞれサントリーホールを会場として、公益財団法人日本オーケストラ加盟団体の交響楽団による演奏を鑑賞します。 ②幼稚園観劇教室は、区民ホールを会場としてプロの劇団による人形劇を鑑賞します。 ③中学校音楽交歓会は、区内施設を会場として、各中学校の特色ある音楽活動を発表します。 ④連合作品展のうち、港区小学校連合作品展覧会は、区民センターを使用し小学校児童の図工、家庭科などの作品をてんじます。東京都教育委員委員会主催の東京都公立学校美術展覧会は、図工、美術、技術、家庭、書写などの優秀な作品を、東京都美術館にて実施します。							
8 事業実績・指標											
指標1		小学校音楽鑑賞児童参加者		指標2		中学校音楽鑑賞教室生徒参加者		11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）			
		当初予定	実績	達成率			当初予定	実績	達成率	1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止	
平成30年度		1,419	1,386	97.7%	平成30年度		619	649	104.8%		
令和元年度		1,440	1,373	95.3%	令和元年度		683	650	95.2%		
令和2年度		1,500	—	—	令和2年度		630	—	—		
9 基本計画・個別計画・関連する法令等				学習指導要領				12 事務事業評価における最終評価			
								1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止			
								音楽鑑賞教室や人形劇観劇について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、開催方法を見直すことから、「縮小・一部廃止」と評価します。			

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	132
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名				体育連合行事				10 事業費の状況																																									
2 基本政策				5 明日の港区を支える子どもたちを育む				<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">予算状況の内訳</td> <td colspan="3">決算状況</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>当初予算額</td> <td>流用</td> <td>補正予算</td> <td>予算現額</td> <td>決算額</td> <td>執行率</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>8,500</td> <td>43</td> <td>0</td> <td>8,543</td> <td>8,475</td> <td>99.2%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>9,778</td> <td>-557</td> <td>0</td> <td>9,221</td> <td>8,580</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>9,838</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>					予算状況の内訳			決算状況			年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率	平成30年度	8,500	43	0	8,543	8,475	99.2%	令和元年度	9,778	-557	0	9,221	8,580	93.0%	令和2年度	9,838	-	-	-	-	-			
	予算状況の内訳			決算状況																																													
年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率																																											
平成30年度	8,500	43	0	8,543	8,475	99.2%																																											
令和元年度	9,778	-557	0	9,221	8,580	93.0%																																											
令和2年度	9,838	-	-	-	-	-																																											
3 政策名				(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する																																													
4 施策名				① 「徳」「知」「体」の育成																																													
5 事業説明文				各校との交流を通じ、協調性や連帯感、愛校心を養うとともに児童・生徒の体力向上を図るために、小学校連合運動会、中学校連合体育大会、特別支援学級合同運動会、小学校水泳記録会を実施します。																																													
6 背景、経緯				<p>体育連合行事は、全校（小学校・中学校）の児童・生徒が一堂に会し、普段から練習している各種体育種目について他校と競い合い、技術の向上や協調性の養成を目的に開始した事業です。児童・生徒にとっては目標や励みになり、当日のみならず各校での練習においても意欲的に取り組んでいます。</p>				<table border="1"> <tr> <td colspan="7">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>一般財源割合</td> <td>一般財源</td> <td>国庫支出金</td> <td>都支出金</td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>100.0%</td> <td>8,500</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>100.0%</td> <td>9,778</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100.0%</td> <td>9,838</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>				財源内訳							年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他		平成30年度	100.0%	8,500	0	0	0		令和元年度	100.0%	9,778	0	0	0		令和2年度	100.0%	9,838	0	0	0				
財源内訳																																																	
年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他																																												
平成30年度	100.0%	8,500	0	0	0																																												
令和元年度	100.0%	9,778	0	0	0																																												
令和2年度	100.0%	9,838	0	0	0																																												
7 事業内容				<p>①小学校連合運動会：年1回、全小学校6年生児童が江東区夢の島陸上競技場に集まり、日頃の体育等で培った技能を発揮します。</p> <p>②中学校連合体育大会：中学校連合体育大会は年1回、全中学校2年生生徒が駒沢オリンピック公園総合運動場に集まり、日頃の体育等で培った技能を発揮します。</p> <p>③特別支援学級合同運動会：年に1回、特別支援学級の児童・生徒が港区スポーツセンターに集まり、競技や表現を行います。</p> <p>④小学校水泳記録会：全小学校6年生児童が年に1回、本校において日頃の体育等で培った泳力を発揮します。</p>				<p>11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p> <p>小中学校ともに、参加対象となる学年の児童・生徒数の増加に伴い、連合運動会、連合体育大会への参加者が増加しています。児童・生徒が合同で同じ目的を掲げ実行することで、自校の誇り、他校への理解と協調性、体育への関わりが強さなどの効果が生じています。また、参加児童・生徒の保護者に限定することなく、学校を取り巻く地域全体での期待と応援などで、区民への大きなインパクトがあります。学校行事として位置付けている事業であり、児童、生徒自身も体力の向上のみならず、目標に向けたモチベーションの高揚など、学習意欲にも波及効果があります。</p> <p>主な費用として、交通費と会場使用料ですが、交通費の学校割引や無料の施設利用など工夫しており、十分効率的に実施しています。全校での実施による連帯感の育成など、学校現場や保護者から高い評価を受けていることから、今後も継続することが必要です。</p> <p>今後、3つの密を避けた開催の必要があることから、参加者を減らして開催することや移動方法としてのバスの借り上げ台数を変更するなど、事業の見直しを行います。また、小学校水泳記録会における医師の派遣を廃止し、各校の養護教諭を活用した運営を行うことで、事業の縮小を図ります。</p>																																									
8 事業実績・指標				<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">指標1</td> <td colspan="3">小学校連合運動会参加者数</td> <td rowspan="2">指標2</td> <td colspan="3">中学校連合体育大会参加者数</td> </tr> <tr> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,348</td> <td>1,354</td> <td>100.4%</td> <td>平成30年度</td> <td>656</td> <td>674</td> <td>102.7%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,424</td> <td>1,414</td> <td>99.3%</td> <td>令和元年度</td> <td>623</td> <td>628</td> <td>100.8%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,451</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>令和2年度</td> <td>701</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>				指標1	小学校連合運動会参加者数			指標2	中学校連合体育大会参加者数			当初予定	実績	達成率	当初予定	実績	達成率	平成30年度	1,348	1,354	100.4%	平成30年度	656	674	102.7%	令和元年度	1,424	1,414	99.3%	令和元年度	623	628	100.8%	令和2年度	1,451	-	-	令和2年度	701	-	-	<p>12 事務事業評価における最終評価</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策として、参加者数を減らして開催することや移動方法としてのバスの借り上げ台数を変更するなど、事業の見直しを行い、業務改善を図ることから、「縮小・一部廃止」と評価します。</p>			
指標1	小学校連合運動会参加者数			指標2	中学校連合体育大会参加者数																																												
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率																																										
平成30年度	1,348	1,354	100.4%	平成30年度	656	674	102.7%																																										
令和元年度	1,424	1,414	99.3%	令和元年度	623	628	100.8%																																										
令和2年度	1,451	-	-	令和2年度	701	-	-																																										
9 基本計画・個別計画・関連する法令等				学習指導要領																																													

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	133
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名				教職員研修				10 事業費の状況																																						
2 基本政策				5 明日の港区を支える子どもたちを育む				<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">予算状況の内訳</td> <td colspan="3">決算状況</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>当初予算額</td> <td>流用</td> <td>補正予算</td> <td>予算現額</td> <td>決算額</td> <td>執行率</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3,314</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3,314</td> <td>2,801</td> <td>84.5%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,199</td> <td>-370</td> <td>0</td> <td>2,829</td> <td>2,625</td> <td>92.8%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>9,140</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>					予算状況の内訳			決算状況			年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率	平成30年度	3,314	0	0	3,314	2,801	84.5%	令和元年度	3,199	-370	0	2,829	2,625	92.8%	令和2年度	9,140	-	-	-	-	-
	予算状況の内訳			決算状況																																										
年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率																																								
平成30年度	3,314	0	0	3,314	2,801	84.5%																																								
令和元年度	3,199	-370	0	2,829	2,625	92.8%																																								
令和2年度	9,140	-	-	-	-	-																																								
3 政策名				(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する																																										
4 施策名				③幼・小中一貫教育の推進																																										
5 事業説明文				様々な教育課題解決のため、経営に関する研究や教育課題別の研究を通じて、幼稚園、小・中学校の総合的な教育力と全教員の資質・能力の向上を図ります。																																										
6 背景、経緯				<p>これまでも、年間を通して各種研修会を計画的に実施してきました。 予測困難な時代において、多様な教育課題に対する理解と認識を深め、課題の解決を図るとともに園長・校長をはじめとする全教員の資質・能力の向上を図ることが求められています。</p>				<table border="1"> <tr> <td colspan="7">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>一般財源割合</td> <td>一般財源</td> <td>国庫支出金</td> <td>都支出金</td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>60.3%</td> <td>1,999</td> <td>0</td> <td>1,315</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>70.8%</td> <td>2,265</td> <td>0</td> <td>934</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>87.6%</td> <td>8,007</td> <td>0</td> <td>1,133</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>				財源内訳							年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他		平成30年度	60.3%	1,999	0	1,315	0		令和元年度	70.8%	2,265	0	934	0		令和2年度	87.6%	8,007	0	1,133	0	
財源内訳																																														
年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他																																									
平成30年度	60.3%	1,999	0	1,315	0																																									
令和元年度	70.8%	2,265	0	934	0																																									
令和2年度	87.6%	8,007	0	1,133	0																																									
7 事業内容				<p>1 様々な教育課題解決のため、経営に関する研究や教育課題別の研究を通じて、幼稚園、小・中学校の総合的な教育力と全教員の資質・能力の向上を図ります。</p> <p>2 港区教育研究会が行う各部研究活動を実施するための経費を一部助成します。 ①【補助限度額】 予算の範囲内で区長が定めた金額を助成します。 ②【補助対象経費】講師謝礼の報償費、研修参加費、書籍の購入等研究活動を行うにあたり必要な経費を助成します。 ③【事務手続】 港区教育研究会からの申請に基づき、補助金を交付決定し、清算します。</p>				<p>11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p> <p>新学習指導要領に掲げられている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業を行う教員の高い指導力が求められている。併せて、幼児・児童・生徒及び保護者の教育的ニーズも多岐にわたっているため、教員の視野を広げ資質向上を行う必要があります。新規採用職員が増加している現状を考慮すると、指導力向上のために研究や研修の場を設定することはますます重要となります。 教員の資質向上支援のため、引き続き本事業を充実させていく必要があります。 今後、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を踏まえ、教職員研修の内容や回数等を精選し、事業の縮小を図ります。</p>																																						
8 事業実績・指標								12 事務事業評価における最終評価																																						
指標1	区主催教員研修等実施数			指標2	研究部会数			<p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p>																																						
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率																																							
平成30年度	91	91	100.0%	平成30年度	37	37	100.0%	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を踏まえ、教職員研修の内容や回数等を精査し、事業を縮小することから、「縮小・一部廃止」と評価します。																																						
令和元年度	91	91	100.0%	令和元年度	37	37	100.0%																																							
令和2年度	91	-	-	令和2年度	37	-	-																																							
9 基本計画・個別計画・関連する法令等																																														
港区学校教育推進計画 港区教育研究会研究費補助金交付要綱																																														

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	134
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名		医療的ケア児の支援		10 事業費の状況							
2 基本政策		5 明日の港区を支える子どもたちを育む		予算状況の内訳			決算状況				
3 政策名		(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する		年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率	
4 施策名		② 特別支援教育の推進		平成30年度	—	—	—	—	—	—	
5 事業説明文		「港区ならではの地域共生社会」の実現に向け、区立幼稚園、小・中学校において、医療的ケアが必要な児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、看護師や生活の支援を行う介助員、学習を支援する講師（HST）など、人材の配置等を行います。		令和元年度	9,267	-3,387	0	5,880	3,373	57.4%	
6 背景、経緯		区立学校に就学する医療的ケアが必要な児童・生徒が年々増えています。令和2年1月に元麻布保育園が開設したことにより、令和3年度以降、区立学校に入学する医療的ケア児が一層増えることが想定されます。		令和2年度	6,152	—	—	—	—	—	
7 事業内容		<p><対象者> 区立幼稚園、小・中学校に在籍している医療的ケアが必要な児童・生徒</p> <p><内容> ①医療的ケアが必要な児童・生徒の支援をする人材の配置（医療的ケアを行う看護師、看護師をまとめるチーフ看護師、生活の支援を行う介助員、学習を支援する講師（HST）など） ②医療的ケアに関する指導医の委嘱 ③学校での医療的ケアに関する教員研修 ④学校生活を支援するための設備・備品等の整備</p>		財源内訳							
8 事業実績・指標				年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他		
9 基本計画・個別計画・関連する法令等		港区学校教育推進計画の重点事業「特別支援教育の充実」、障害者差別解消法、障害者総合支援法		平成30年度	—	—	—	—	—		
				令和元年度	92.1%	8,531	736	0	0		
				令和2年度	83.9%	5,160	992	0	0		
				11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）							
				<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続 <input type="checkbox"/> 2 統合 <input type="checkbox"/> 3 縮小・一部廃止 <input type="checkbox"/> 4 廃止							
				区立学校に就学する医療的ケアが必要な児童・生徒が年々増えています。新たに元麻布保育園において医療的ケア児の受入れを開始したことなど、令和3年度以降も、さらに区立学校に入学する医療的ケア児が一層増えることが想定されます。現在、医療的ケアを行う看護師は会計年度任用職員として任用していますが、人材確保が困難な状況であるため、今後の医療的ケア児の増加も見据えた運用方法等について、引き続き検討します。							
				12 事務事業評価における最終評価							
				<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続 <input type="checkbox"/> 2 統合 <input type="checkbox"/> 3 縮小・一部廃止 <input type="checkbox"/> 4 廃止							
				区立学校に就学する医療的ケアが必要な児童・生徒が年々増えており、令和3年度以降も、区立学校に入学する医療的ケア児が一層増えることが想定されるため、事業のニーズが高まることが予想されることから、「継続」評価とします。							
指標 1		医療的ケアを必要とする児童・生徒		指標 2		看護師を配置している児童・生徒					
		当初予定	実績	達成率			当初予定	実績	達成率		
平成30年度		—	—	—	平成30年度		—	—	—		
令和元年度		10	10	100.0%	令和元年度		5	6	120.0%		
令和2年度		11	—	—	令和2年度		9	—	—		

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	136
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名				国際人育成事業				10 事業費の状況																																													
2 基本政策				5 明日の港区を支える子どもたちを育む				<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">予算状況の内訳</td> <td colspan="3">決算状況</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>当初予算額</td> <td>流用</td> <td>補正予算</td> <td>予算現額</td> <td>決算額</td> <td>執行率</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>311,183</td> <td>-7</td> <td>0</td> <td>311,176</td> <td>308,520</td> <td>99.1%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>298,325</td> <td>173</td> <td>0</td> <td>298,498</td> <td>296,454</td> <td>99.3%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>298,668</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>					予算状況の内訳			決算状況			年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率	平成30年度	311,183	-7	0	311,176	308,520	99.1%	令和元年度	298,325	173	0	298,498	296,454	99.3%	令和2年度	298,668	-	-	-	-	-							
	予算状況の内訳			決算状況																																																	
年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率																																															
平成30年度	311,183	-7	0	311,176	308,520	99.1%																																															
令和元年度	298,325	173	0	298,498	296,454	99.3%																																															
令和2年度	298,668	-	-	-	-	-																																															
3 政策名				(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する																																																	
4 施策名				④ 国際人育成の推進																																																	
5 事業説明文				英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を養うとともに、広く世界に目を向けた国際理解教育を推進し、国際人としての資質を育成します。また、外国人児童・生徒に対して、多様な教育の機会を提供します。																																																	
6 背景、経緯				<ul style="list-style-type: none"> 小学校「国際科」は平成19年度から、中学校「英語科国際」は平成18年度から開始しました。 小中学生海外派遣は平成19年度から開始し、平成29年度から、小中学生共に定員を40名としました。 日本語学級は、平成3年度に筈小学校、平成30年度に麻布小学校、六本木中学校で開始しました。 イングリッシュサポートコースは、平成24年度に東町小学校、平成28年度に南山小学校に開設し、外国人児童に対して英語による学習支援を行っています。 日本語適応指導は、各校からの指導員の派遣希望が年々増加しています。 				<table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>一般財源割合</td> <td>一般財源</td> <td>国庫支出金</td> <td>都支出金</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>98.7%</td> <td>307,183</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>98.3%</td> <td>293,373</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,952</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>98.9%</td> <td>295,380</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3,288</td> </tr> </table>				年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他	平成30年度	98.7%	307,183	0	0	4,000	令和元年度	98.3%	293,373	0	0	4,952	令和2年度	98.9%	295,380	0	0	3,288																		
年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他																																																
平成30年度	98.7%	307,183	0	0	4,000																																																
令和元年度	98.3%	293,373	0	0	4,952																																																
令和2年度	98.9%	295,380	0	0	3,288																																																
7 事業内容				<ul style="list-style-type: none"> 小学校は「国際科」として、外国語活動を全学年で週2時間、中学校は「英語科国際」を通常の英語の週の授業時数に1時間加えて実施します。六本木中学校では、英語の能力に長けた生徒の力を更に伸ばすため、英語科国際でネイティブコースを開設しています。 小学6年生、中学2年生の代表者をオーストラリアに派遣し、外国の自然や文化などに触れ、コミュニケーション能力の向上を図ります。 外国人児童・生徒が、生活・学習に適応できるよう、日本語学級を開設しているほか、日本語適応指導員を配置します。 外国人児童・生徒に対する多様な教育の機会を提供するために、英語を使用して授業を行う教育を東町小学校及び南山小学校のイングリッシュサポートコースで実施します。 				11 本事業に係る所管課の意見（一次評価） <table border="1"> <tr> <td>1 継続</td> <td>2 統合</td> <td>3 縮小・一部廃止</td> <td>4 廃止</td> </tr> </table>				1 継続	2 統合	3 縮小・一部廃止	4 廃止																																						
1 継続	2 統合	3 縮小・一部廃止	4 廃止																																																		
8 事業実績・指標				<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">指標1</td> <td colspan="3">英語の学習が「楽しい」と感じる児童・生徒の割合</td> <td rowspan="2">指標2</td> <td colspan="3">日本語適応指導の初級を修了した児童・生徒の割合</td> </tr> <tr> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>60</td> <td>63</td> <td>105.0%</td> <td>平成30年度</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>105.5%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>65</td> <td>66</td> <td>101.2%</td> <td>令和元年度</td> <td>60</td> <td>62</td> <td>103.3%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>令和2年度</td> <td>65</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>				指標1	英語の学習が「楽しい」と感じる児童・生徒の割合			指標2	日本語適応指導の初級を修了した児童・生徒の割合			当初予定	実績	達成率	当初予定	実績	達成率	平成30年度	60	63	105.0%	平成30年度	55	58	105.5%	令和元年度	65	66	101.2%	令和元年度	60	62	103.3%	令和2年度	70	-	-	令和2年度	65	-	-	12 事務事業評価における最終評価 <table border="1"> <tr> <td>1 継続</td> <td>2 統合</td> <td>3 縮小・一部廃止</td> <td>4 廃止</td> </tr> </table>				1 継続	2 統合	3 縮小・一部廃止	4 廃止
指標1	英語の学習が「楽しい」と感じる児童・生徒の割合			指標2	日本語適応指導の初級を修了した児童・生徒の割合																																																
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率																																														
平成30年度	60	63	105.0%	平成30年度	55	58	105.5%																																														
令和元年度	65	66	101.2%	令和元年度	60	62	103.3%																																														
令和2年度	70	-	-	令和2年度	65	-	-																																														
1 継続	2 統合	3 縮小・一部廃止	4 廃止																																																		
9 基本計画・個別計画・関連する法令等				港区教育ビジョン、港区学校教育推進計画、港区小中学生海外派遣事業実施要項、港区国際学級における講師設置要綱、国際学級非常勤講師の任用に関する事務処理要綱				国際人育成の視点から、英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を養うとともに、広く世界に目を向けた国際理解教育を推進することは肝要です。 また、外国人への日本語適応指導やイングリッシュサポートコース、国際学級は、希望者が年々増加しており、今後更に事業を充実させていくことが期待されています。 今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、海外派遣事業のオーストラリア現地での実施が難しいことから、ホームステイ体験を含む国内イングリッシュ・キャンプとして沖縄県での実施とし、事業の縮小を図ります。																																													
				海外派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、国内での実施に見直すことで、事業を縮小することから、「縮小・一部廃止」評価とします。																																																	

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	137
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名				学校情報化推進事業				10 事業費の状況																																									
2 基本政策				5 明日の港区を支える子どもたちを育む				<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">予算状況の内訳</td> <td colspan="3">決算状況</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>当初予算額</td> <td>流用</td> <td>補正予算</td> <td>予算現額</td> <td>決算額</td> <td>執行率</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>539,177</td> <td>-63,554</td> <td>0</td> <td>475,623</td> <td>463,235</td> <td>97.4%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>684,382</td> <td>-308</td> <td>-33,401</td> <td>650,673</td> <td>637,315</td> <td>97.9%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>604,699</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>					予算状況の内訳			決算状況			年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率	平成30年度	539,177	-63,554	0	475,623	463,235	97.4%	令和元年度	684,382	-308	-33,401	650,673	637,315	97.9%	令和2年度	604,699	-	-	-	-	-			
	予算状況の内訳			決算状況																																													
年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率																																											
平成30年度	539,177	-63,554	0	475,623	463,235	97.4%																																											
令和元年度	684,382	-308	-33,401	650,673	637,315	97.9%																																											
令和2年度	604,699	-	-	-	-	-																																											
3 政策名				(18)子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する																																													
4 施策名				⑤安全・安心で魅力ある教育環境の整備																																													
5 事業説明文				平成30年3月に策定された「港区学校情報化アクションプラン」に基づき、情報端末や電子黒板、デジタル教材など授業において効果的に活用し、時代のニーズに対応した情報教育を推進します。																																													
6 背景、経緯				<p>これまで、港区学校情報化アクションプラン（平成26年度～平成29年度）に基づきタブレットの配備や小学校普通教室への電子黒板の配備、ネットワークの構築や校務支援システムの整備を計画的に実施してきました。しかしながら、ICT機器の活用は教員や学校ごとに差があることから、港区学校情報化アクションプラン（平成30年度～令和2年度）を策定し、ICT機器のさらなる追加配備や配備されたICT機器を円滑に使用するために通信環境の整備を行っています。</p>				<table border="1"> <tr> <td colspan="7">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>一般財源割合</td> <td>一般財源</td> <td>国庫支出金</td> <td>都支出金</td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>100.0%</td> <td>539,177</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>100.0%</td> <td>684,382</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100.0%</td> <td>604,699</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>				財源内訳							年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他		平成30年度	100.0%	539,177	0	0	0		令和元年度	100.0%	684,382	0	0	0		令和2年度	100.0%	604,699	0	0	0				
財源内訳																																																	
年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他																																												
平成30年度	100.0%	539,177	0	0	0																																												
令和元年度	100.0%	684,382	0	0	0																																												
令和2年度	100.0%	604,699	0	0	0																																												
7 事業内容				<p>港区学校情報化アクションプラン（平成30年度～令和2年度）に基づき、学校の生活や学習において日常的にICTを活用できる環境を整備します。また、働き方改革の観点からもICTを推進することで教員が子どもと向き合う時間の確保をします。</p> <p>①事業の対象：幼稚園、小中学校の教員・児童生徒 ②ICT支援員については週1回の配置、ヘルプデスクの設置については月～金の設置、セキュリティアドバイザーは随時教育委員会からの質問に対応します。 ③電子黒板やタブレットを追加配備し、ICT支援員の派遣やヘルプデスクの設置を行い、教員のICT活用をサポートします。</p>				<p>11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p>																																									
8 事業実績・指標				<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">指標1</td> <td colspan="3">過当たりのICTを活用した授業実施率(中学校)</td> <td rowspan="2">指標2</td> <td colspan="3">ICT利用した授業による生徒の学習への理解の深まり(中学校)</td> </tr> <tr> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>40%</td> <td>44.1%</td> <td>110.3%</td> <td>平成30年度</td> <td>70%</td> <td>75.2%</td> <td>107.4%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>50%</td> <td>48.1%</td> <td>96.2%</td> <td>令和元年度</td> <td>80%</td> <td>82.8%</td> <td>103.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>60%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>令和2年度</td> <td>90%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>				指標1	過当たりのICTを活用した授業実施率(中学校)			指標2	ICT利用した授業による生徒の学習への理解の深まり(中学校)			当初予定	実績	達成率	当初予定	実績	達成率	平成30年度	40%	44.1%	110.3%	平成30年度	70%	75.2%	107.4%	令和元年度	50%	48.1%	96.2%	令和元年度	80%	82.8%	103.5%	令和2年度	60%	-	-	令和2年度	90%	-	-	<p>12 事務事業評価における最終評価</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p>			
指標1	過当たりのICTを活用した授業実施率(中学校)			指標2	ICT利用した授業による生徒の学習への理解の深まり(中学校)																																												
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率																																										
平成30年度	40%	44.1%	110.3%	平成30年度	70%	75.2%	107.4%																																										
令和元年度	50%	48.1%	96.2%	令和元年度	80%	82.8%	103.5%																																										
令和2年度	60%	-	-	令和2年度	90%	-	-																																										
9 基本計画・個別計画・関連する法令等				学校教育の情報化の推進に関する法律/学校教育推進計画（令和3年度から学校情報化アクションプランから変更）				<p>端末設定作業やヘルプデスク業務委託について、事業を統合することで、スケールメリットを活かした効率化が期待できるため、「統合」評価とします。</p>																																									

令和2年度事務事業評価シート

所管課	教育委員会事務局学校教育部 教育指導担当	NO	138
-----	----------------------	----	-----

(単位：千円)

1 事業名				創意ある教育活動研究指導				10 事業費の状況													
2 基本政策				5 明日の港区を支える子どもたちを育む																	
3 政策名				(18) 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する				年度		当初予算額		予算状況の内訳		決算状況							
4 施策名				⑥地域社会で支え合う学びの推進				平成30年度	2,598	0	0	2,598	2,217	85.3%							
5 事業説明文				魅力ある学校づくりの一環として、幼稚園・小中学校が地域人材を活用し、創意ある教育活動を実施、展開できる仕組みを構築します。				令和元年度	2,508	-100	0	2,408	1,986	82.5%							
6 背景、経緯								魅力ある公立学校教育を推進するため、地域の特色をいかした中長期的な視点に立ったの計画を立案し、実施してきました。				令和2年度	2,508	-	-	-	-	-			
7 事業内容												魅力ある学校づくりのために、各幼稚園、小・中学校が学校の実態と地域の特色を考えて計画した創意ある取り組みに対して、地域の指導員1人1日当たり3,000円の報償費を支出します。 (地域人材による指導内容例) 茶道、三味線、箏、大正琴、和太鼓、能、和菓子づくり、香道、昔遊び、食育指導、バランスボール、キャンプごっこ、フラメンコ、馬頭琴、稲刈り、囲碁、被爆体験、証言、プロのアナウンサーによる朗読、トマト・小松菜の育て方、寄木細工、国際交流、車椅子体験、手話、点字、盲導犬、区内美術館学芸員による美術学習 など				財源内訳		年度		一般財源割合	
8 事業実績・指標				指標1		指標2		平成30年度	100.0%	2,598	0					0	0	0			
9 基本計画・個別計画・関連する法令等				学習指導要領				11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）				1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止									
12 事務事業評価における最終評価				1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止				本事業の継続により、体験活動や言語活動の充実など、特色ある学校づくりが進められてきています。地域の方との活動を通して郷土愛が育成されたり、専門家からの直接指導を通して自らの生き方を考えたりするなどの継続的な取組によって、各幼稚園・小中学校の実態に即した多様な学習活動を行うことができています。 ただし、年度当初の予算配分や年度途中で実施状況を把握しての再配当など、事務的な手続きの改善が必要あるため、効率的な仕組みや運用方法となるよう、事業を見直します。				本事業は、魅力ある学校づくりの一環として、幼稚園・小中学校が地域人材を活用し、創意ある教育活動を実施、展開する事業ですが、事務的な手続きの改善を行い、必要最小限の事業費となるよう、効率的な仕組みや運用方法にすることで、業務改善を図ることから、「縮小・一部廃止」評価とします。									